

還暦野球「新潟エージレス」

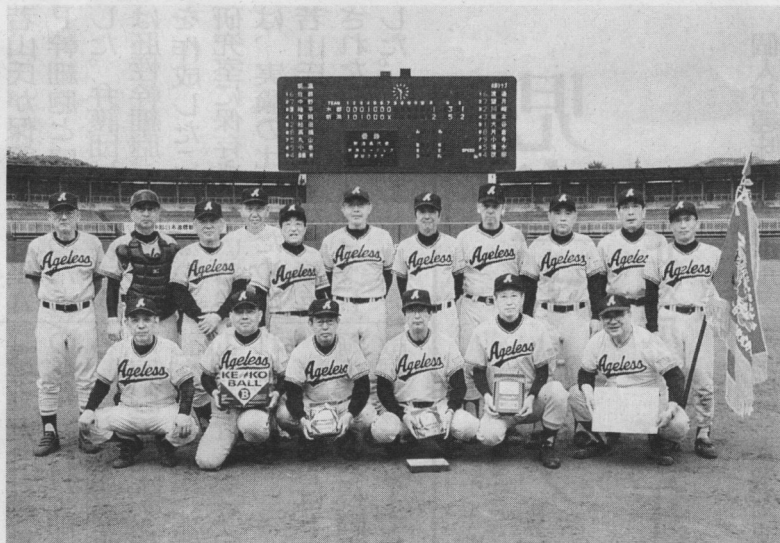
中部大会連覇、全国へ

本県を含む中部地方9県の還暦野球チームが出場し、岐阜県で開かれた「第

6回中部日本還暦軟式野球大会」で、新潟市の「新潟エージレス野球クラブ」が2年連続の優勝に輝いた。次の目標は、10月に兵庫県姫路市で開かれる全国大会での優勝だ。3位となった

昨年に続き、メンバーは「全国でも勝ち進みたい」と練習に励んでいる。

中部大会は静岡や愛知など、各地の予選を勝ち抜いた24チームが出場し、5月に開催。本県からはエージレスを含む4チームが挑んだ。エージレスは、愛知県チームと対戦した1回戦



中部日本還暦軟式野球大会で優勝した新潟エージレス野球クラブのメンバー＝岐阜市(同クラブ提供)

を15対0で快勝。決勝では岐阜県のチームに2対1で競り勝った。

監督の川崎恒男さん(68)は「昨年優勝したことで、各チームが『打倒エージレス』で来たので、プレッシャーはあった」と明かす。5連投で勝利に貢献し、最優秀選手に選ばれたエースの富岡芳和さん(62)は「疲れもあったが、仲間と体のメンテナンスをしてもらいながら乗り切れた」と振り返る。

1997年、高校野球OBらが中心となり結成したエージレス。週2回、新潟市内のグラウンドに集まり、練習を重ねている。本県の還暦野球チームの草分け的な存在で、2008年に全国優勝した強豪ということもあって経験者が多く集まる。総勢約50人と選手層が厚く、今大会の登録メンバー最年長は73歳だった。

中部大会は来年、初めて新潟市で開かれる予定だ。県還暦軟式野球連盟会長の花輪英夫さん(78)は「県内チームの活躍で大会を盛り上げたい」と話した。